

vFORUM **2019**

DW174

実案件に学ぶ 「ワークスタイル管理」への道筋

VMware株式会社
ストラテジックアカウント SE 本部
システムズエンジニア 梶木 正博

Make
Your
Mark

免責事項

- このセッションには、現在開発中の製品 / サービスの機能が含まれている場合があります。
- 新しいテクノロジーに関するこのセッションおよび概要は、VMware が市販の製品/サービスにこれらの機能を搭載することを約束するものではありません。
- 機能は変更される場合があるため、いかなる種類の契約書、受注書、または販売契約書に記述してはなりません。
- 技術的な問題および市場の需要により、最終的に出荷される製品 / サービスでは機能が変わる場合があります。
- ここで検討されているまたは提示されている新しいテクノロジーまたは機能の価格およびパッケージは、決定されたものではありません。

「ワークスタイル管理」

勝手に言葉を作りました...

ワークスタイル変革のモチベーション



会社に必要な人
全員が

優秀な人材の確保と
流出の抑止



最大の
パフォーマンスを
発揮できる環境で

生産性の向上



柔軟に働くことが
できること

モチベーションの向上

自分の
席が
欲しい

毎日同じ
デスクは
嫌だ

社外から
イントラに
アクセス
したい

出張先で
ちゃんと
仕事したい

帰りがけに
カフェで
仕事したい

温泉で仕事
したい
(Workation)

他の部署と
コラボ
したい

一人に
なりたい

14 時だけど
一旦
寝たい

介護
しながら

通院
しながら

子供の
送り迎え
はマスト

安い時期に
旅行したい

フェスの
前後は
リモート
ワーク

設備と制度で実現

制度と技術で実現

自分の
席が
欲しい

毎日同じ
デスクは
嫌だ

他の部署と
コラボ
したい

一人に
なりたい

14 時だけど
一旦
寝たい

出張先で
ちゃんと
仕事したい

帰りがけに
カフェで
仕事したい

社外から
イントラに
アクセス
したい

通院
しながら

介護
しながら

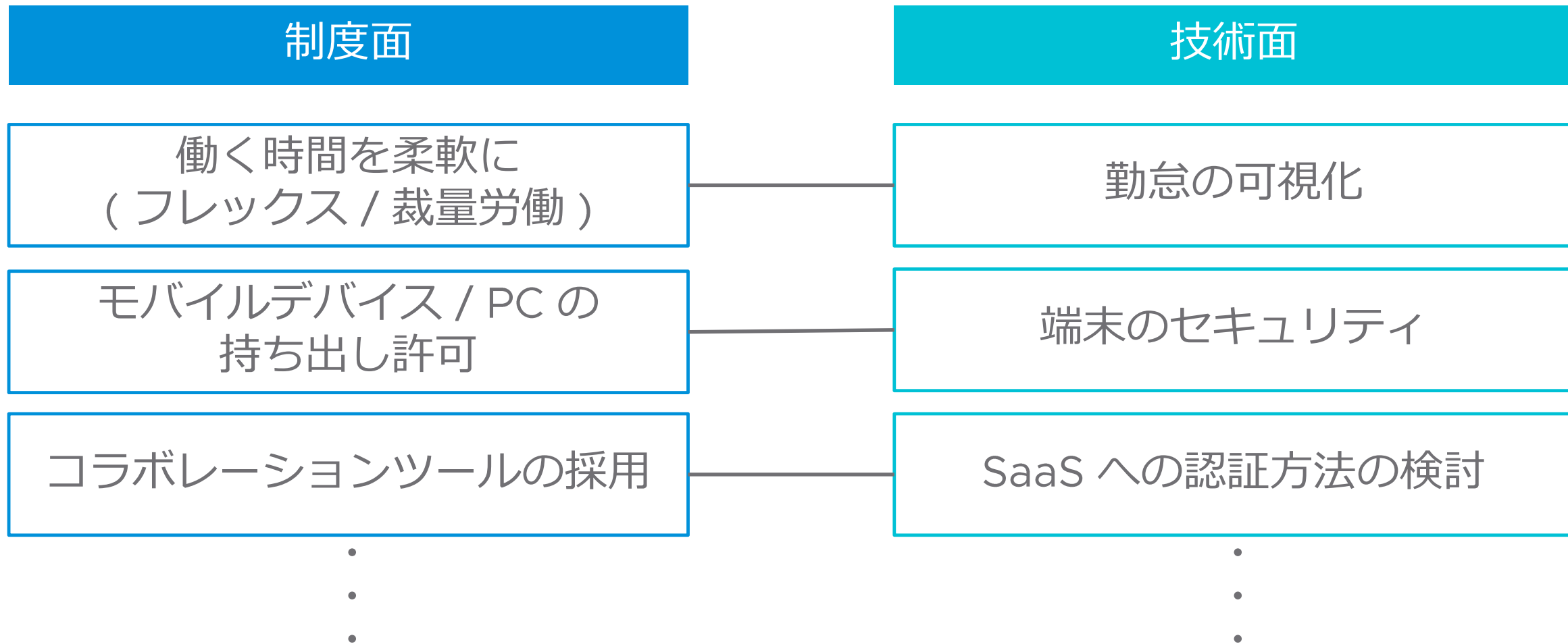
子供の
送り迎え
はマスト

温泉で仕事
したい
(Workation)

フェスの
前後は
リモート
ワーク

安い時期に
旅行したい

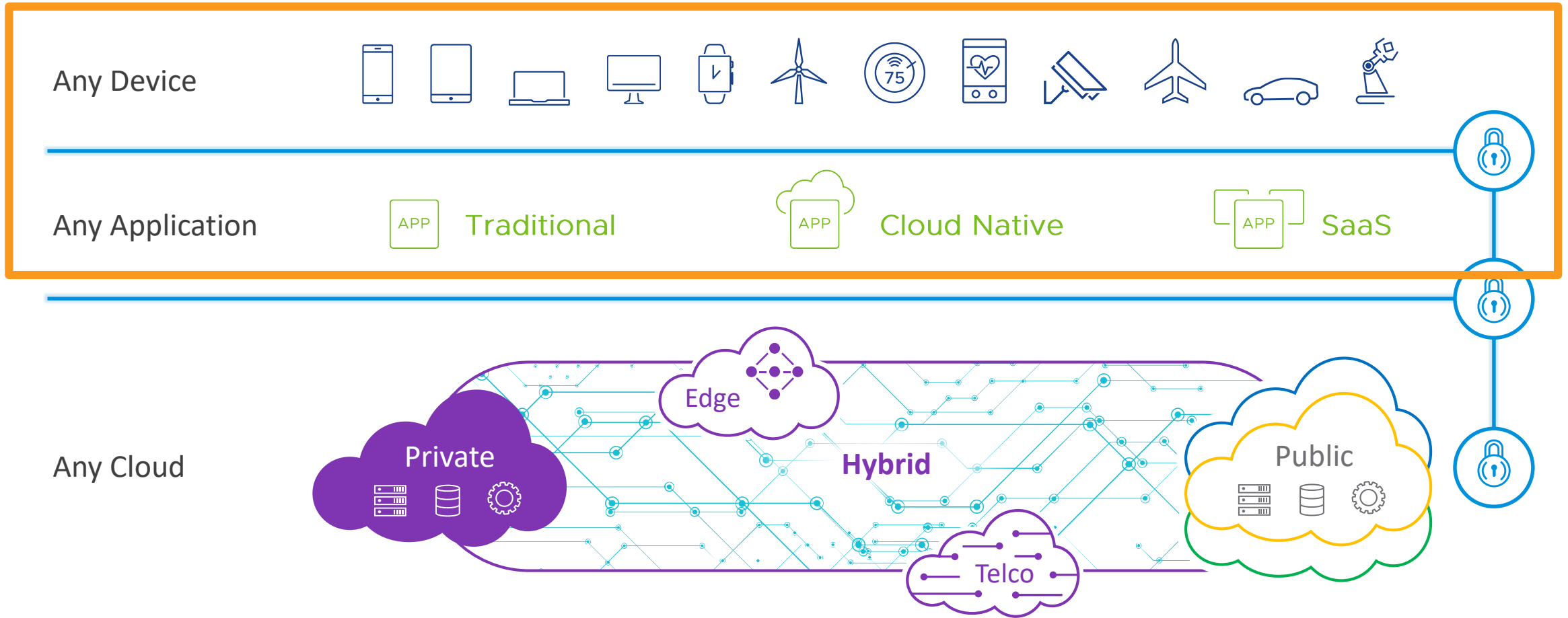
制度と技術のすみ分け



働き方の多様性を認めつつ、想定外の働き方でも問題が起きない様にする
『ワークスタイル変革』の陰には『ワークスタイル管理』が必要

VMware Vision

The Essential, Ubiquitous Digital Foundation



VMware Workspace ONE™ Empowers the Digital Workspace Your Business Needs

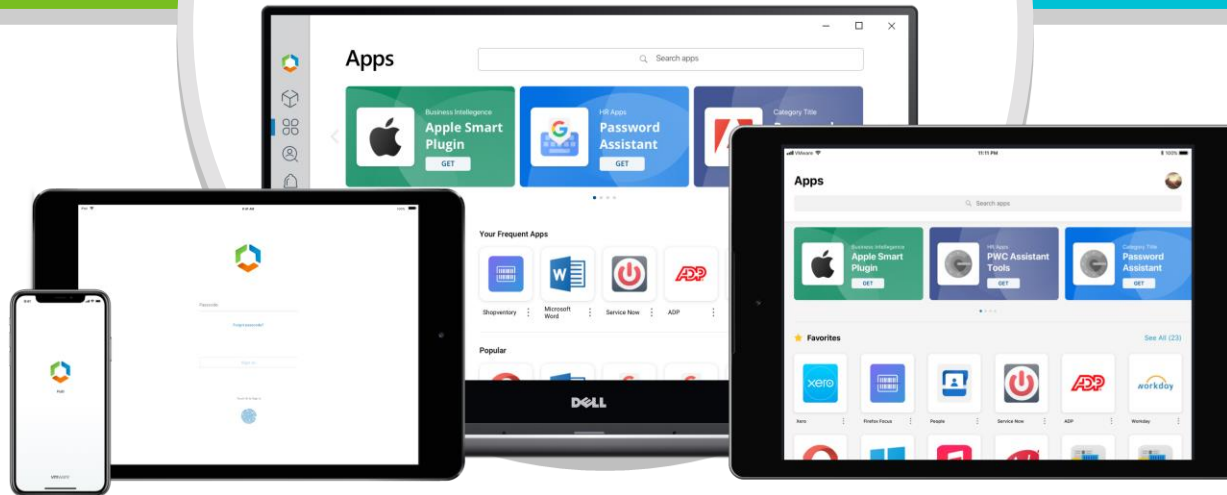
CONSUMER
SIMPLE

You can't transform business without a great user experience

vmware®
Workspace ONE™

ENTERPRISE
SECURE

You don't need to compromise security to get there



2つの課題をベースにご紹介

モバイルデバイスの活用って...?



物理 PC を
どこでも使えるようにするには...?



2つの課題をベースにご紹介

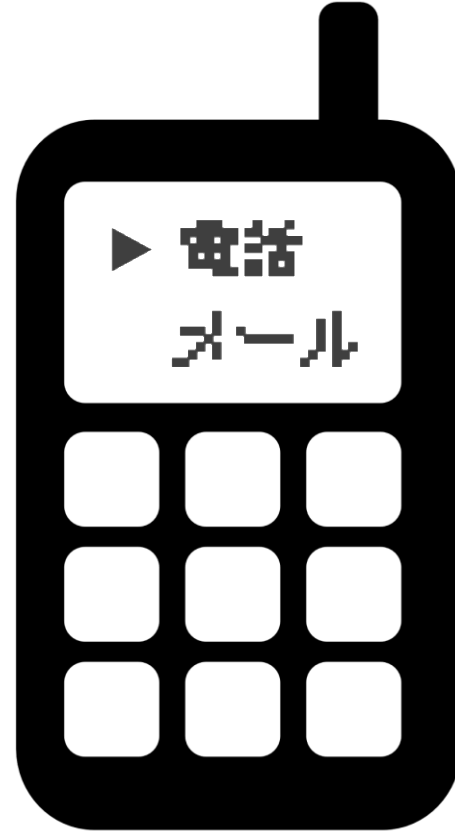
モバイルデバイスの活用って...?



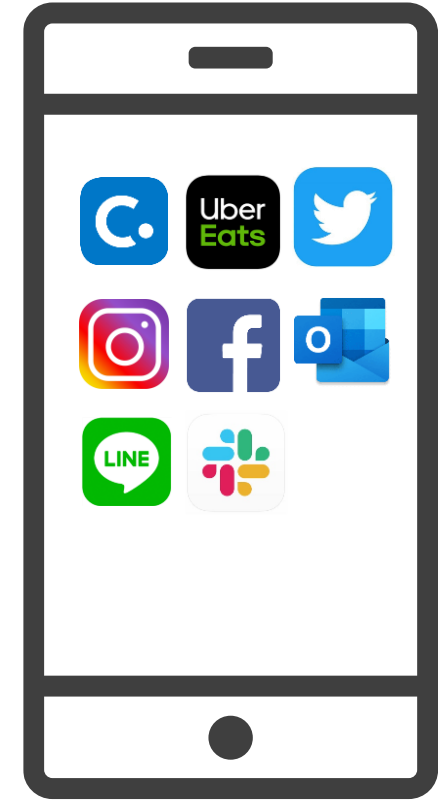
“電話”でできることが増加



～ 現在
固定電話

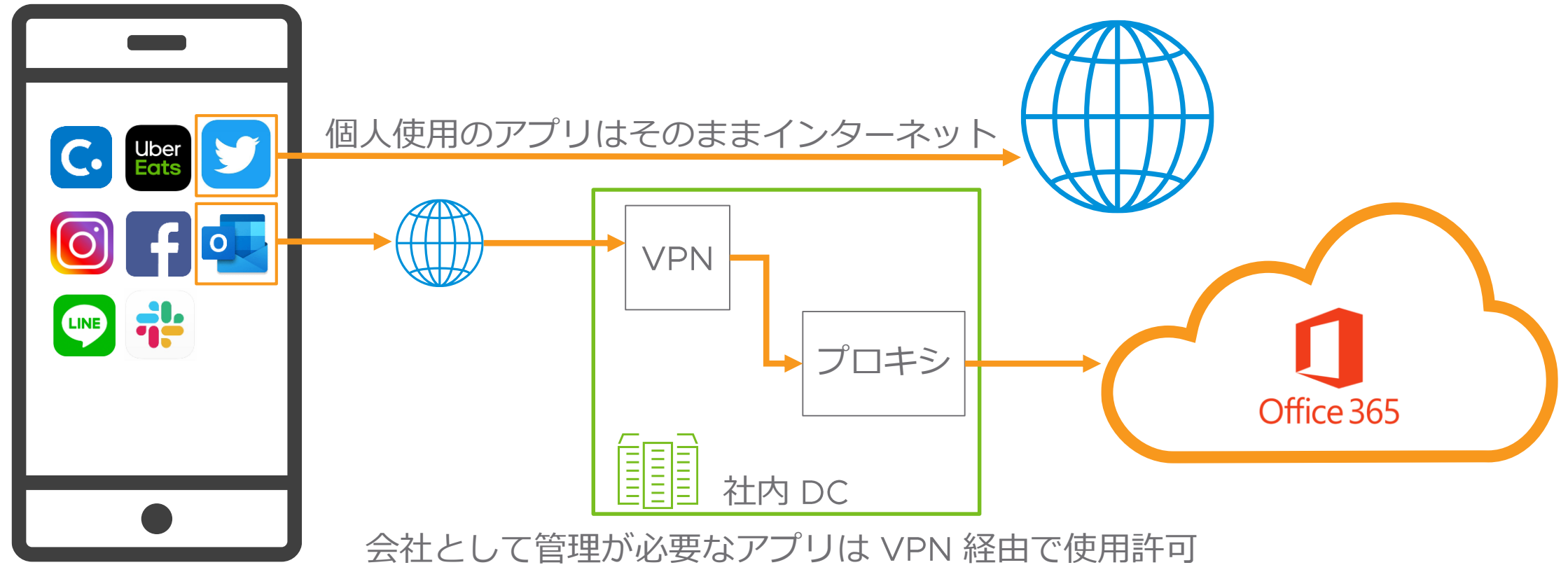


2001 年
日本において 3G 回線が使用可能に

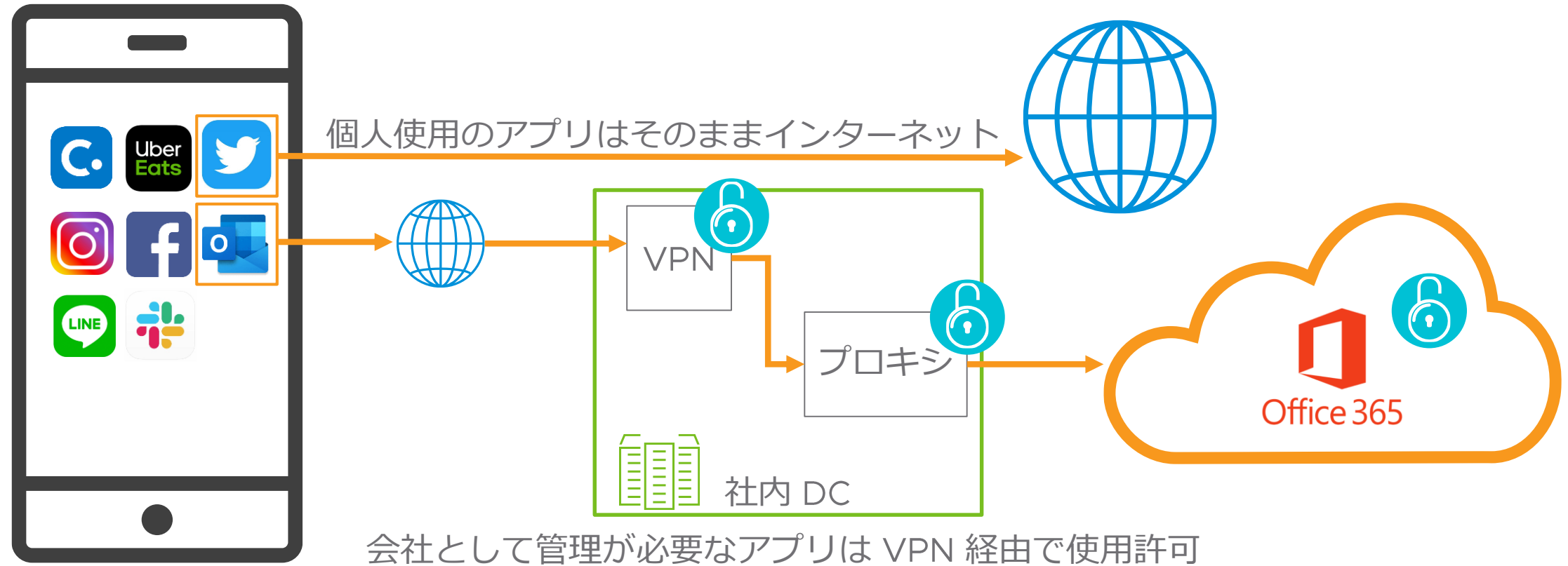


2007 年
初代 iPhone 発売

モバイルアプリの一般的な管理手法

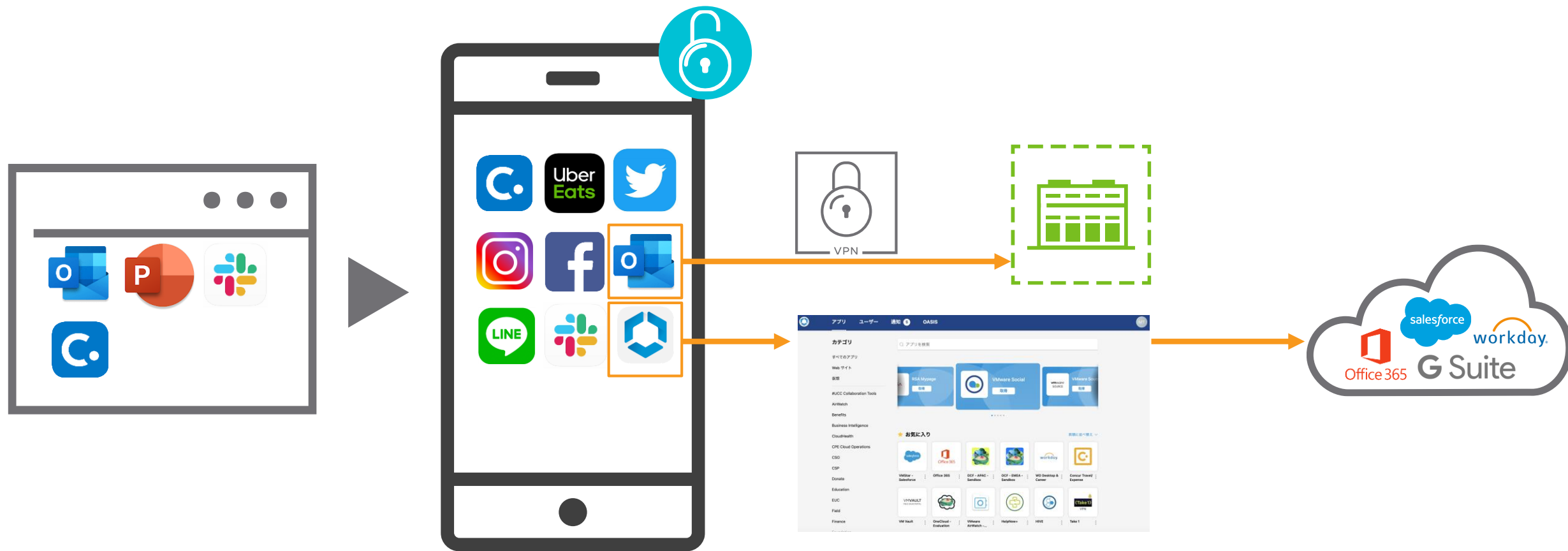


モバイルアプリの一般的な管理手法



アプリの管理方法によっては多段認証が必要
ユーザー利便性の低下 / パスワードを簡単にしてしまうリスクの増加につながる

Workspace ONE でできること

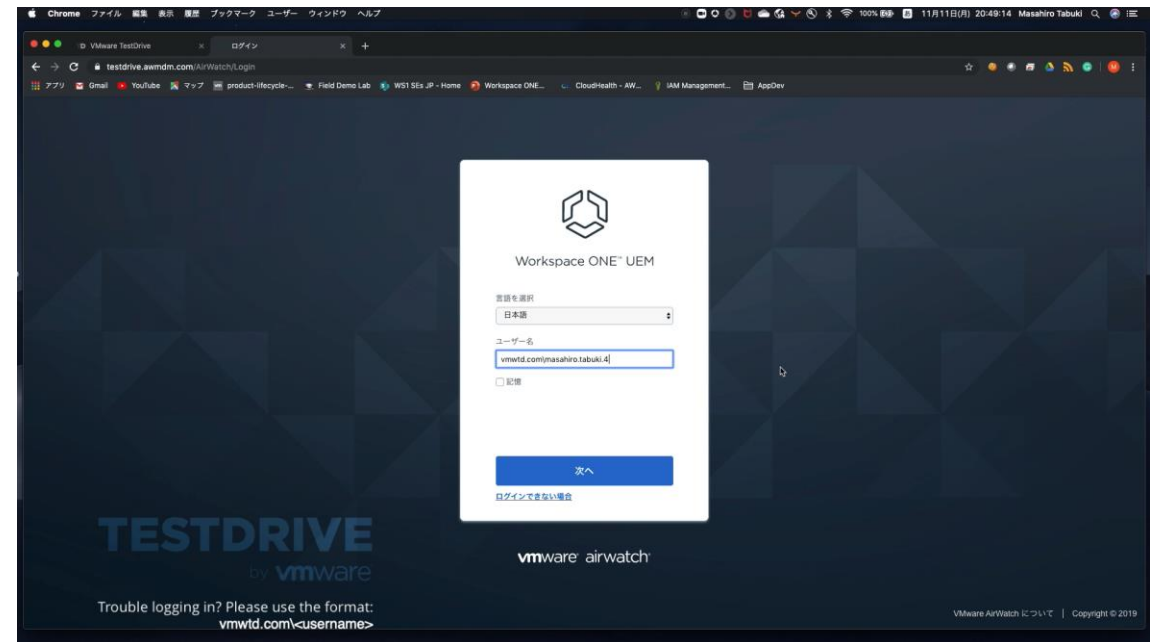


Mobile DEMO

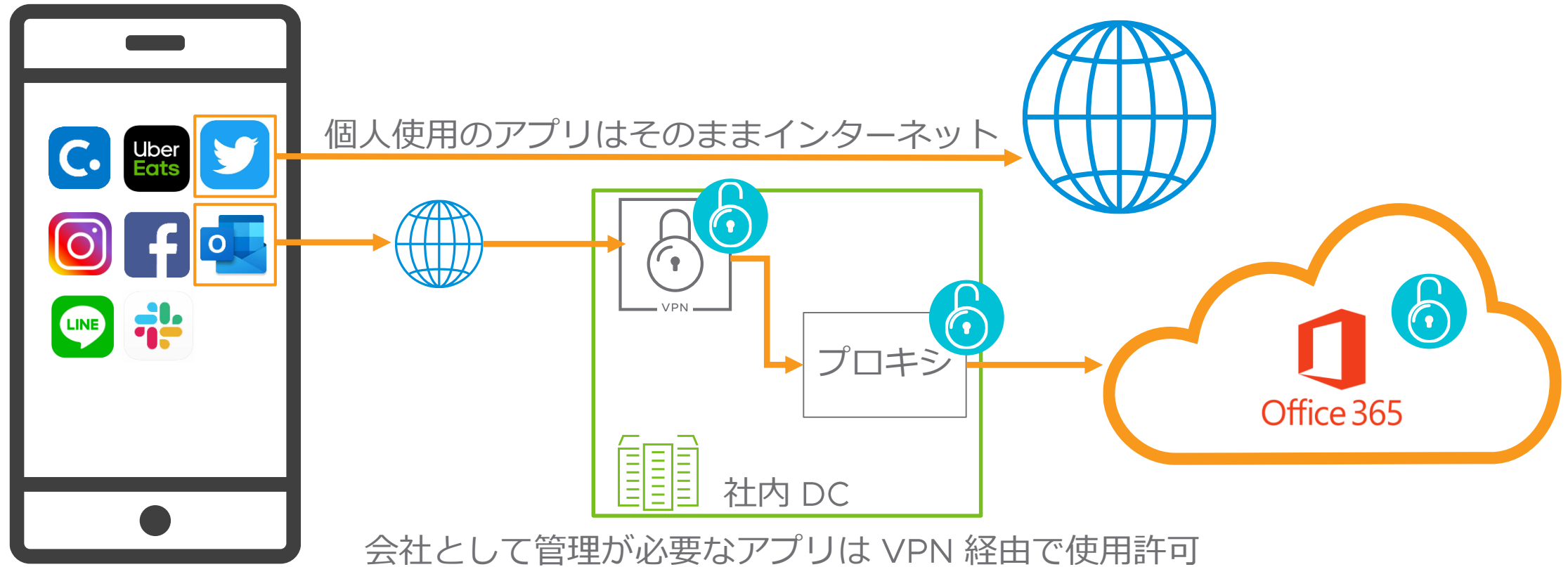
WS1 UEM でデバイスの加入状態 / App の配布手法など確認

実際にモバイルデバイスから HUB を触ってみる

カタログと SaaS アクセスの確認



モバイルアプリの一般的な管理手法 (再掲)

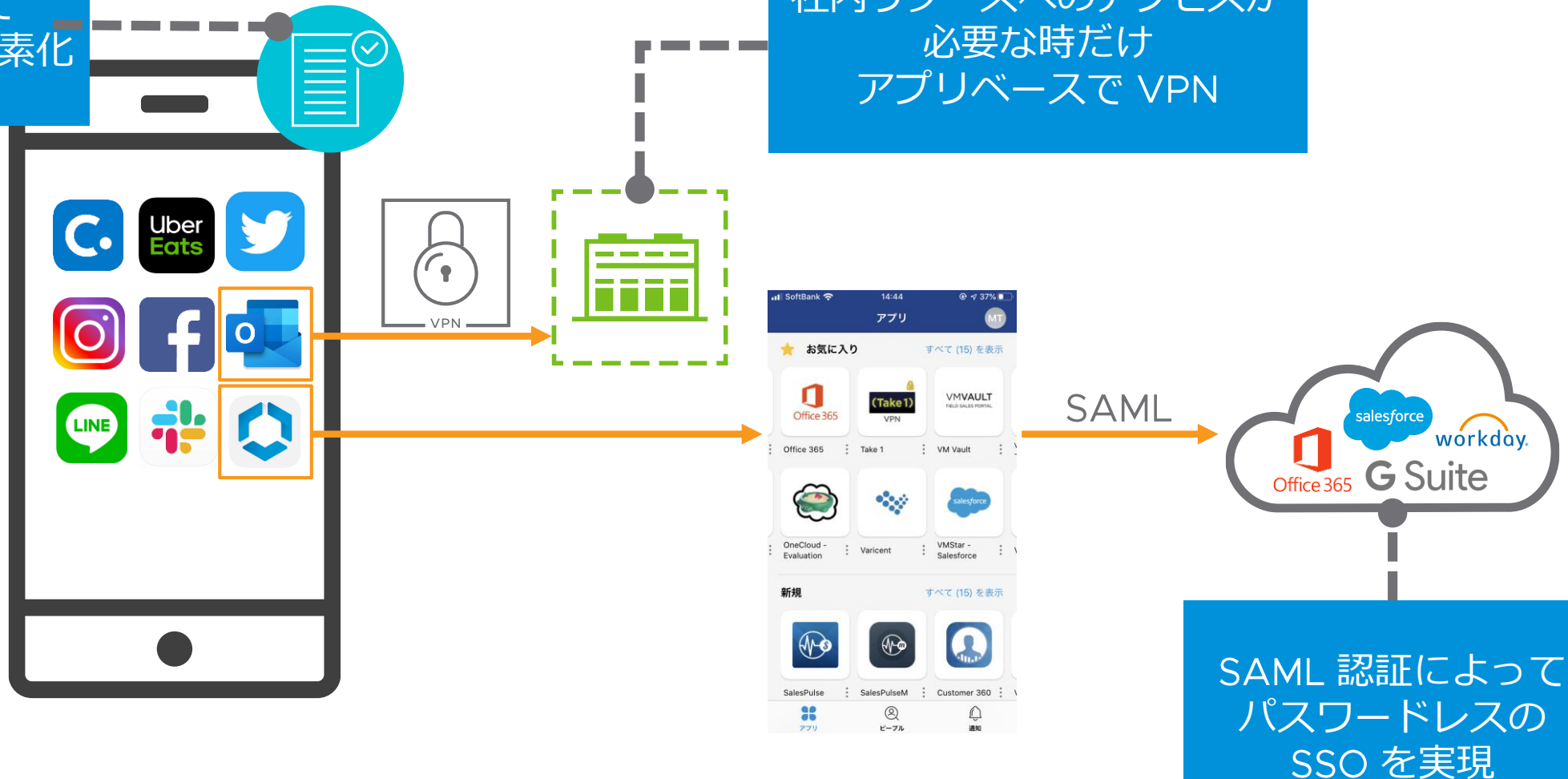


アプリの管理方法によっては多段認証が必要
ユーザー利便性の低下 / パスワードを簡単にしてしまうリスクの増加につながる

「セキュリティ」と「ユーザービリティ」を高いレベルで両立

デバイス証明書の
自動配布によって
ユーザーの認証を簡素化

社内リソースへのアクセスが
必要な時だけ
アプリベースで VPN



2つの課題をベースにご紹介

モバイルデバイスの活用って...?



物理 PC を
どこでも使えるようにするには...?



2つの課題をベースにご紹介

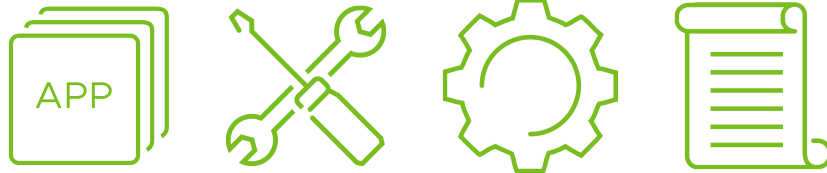
物理 PC を
どこでも使えるようにするには...?



PC への アプリケーション / ポリシー 配信例

社内環境

SCCM & WSUS

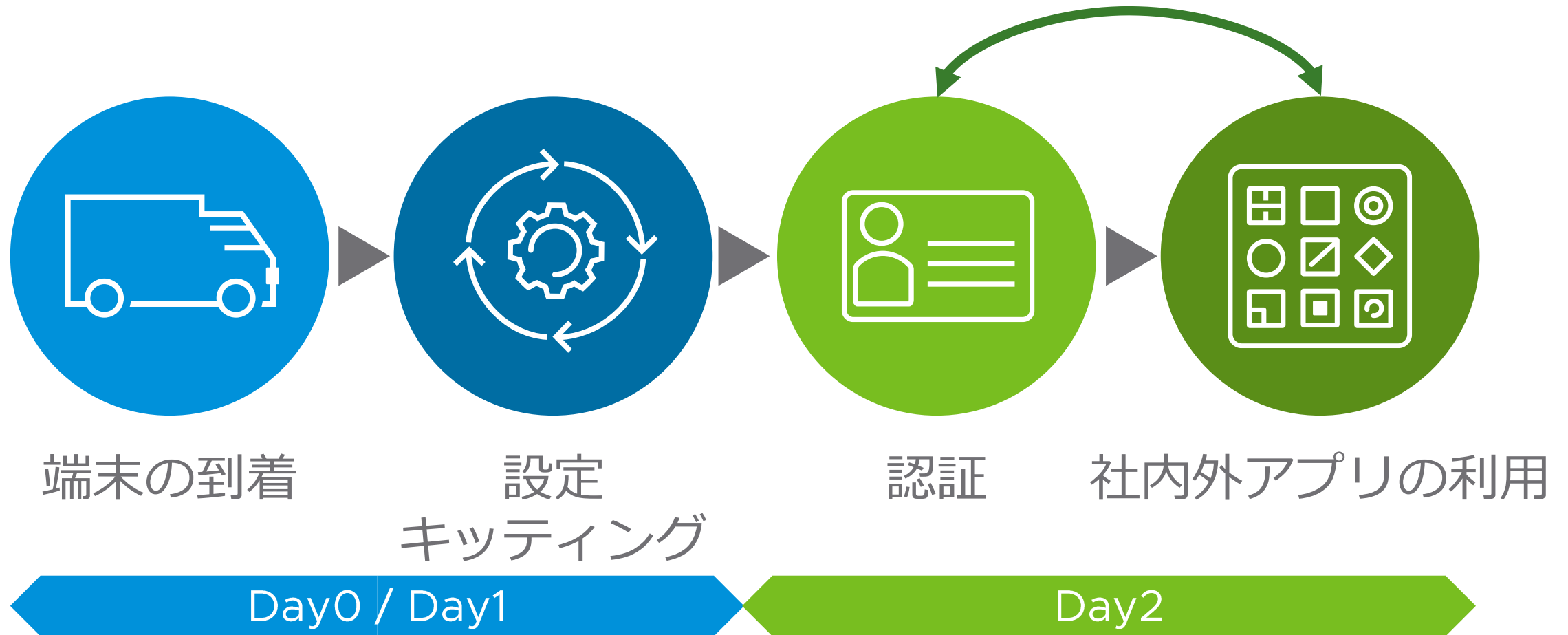


社内 PC 環境は SCCM / WSUS で管理



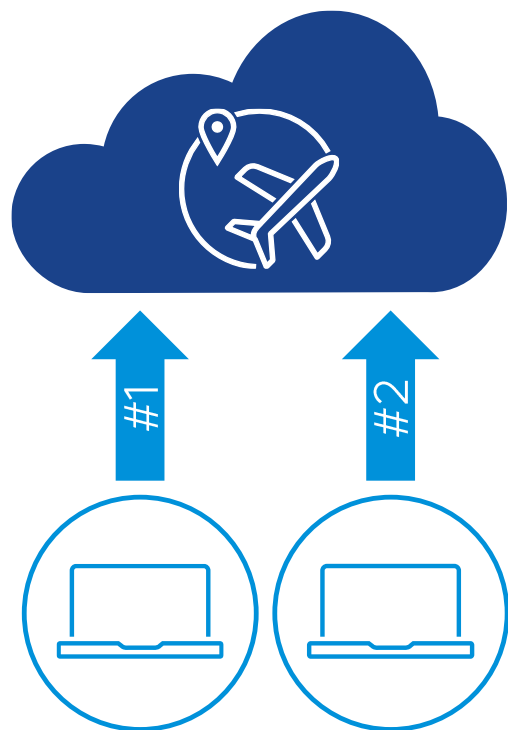
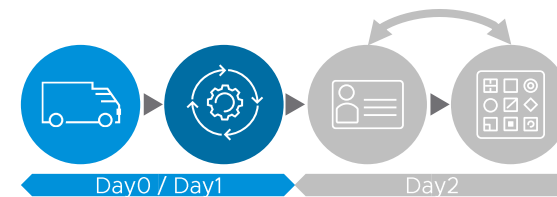
社外にある PC の統制はしづらい

端末が使用できるまでの流れと Workspace ONE

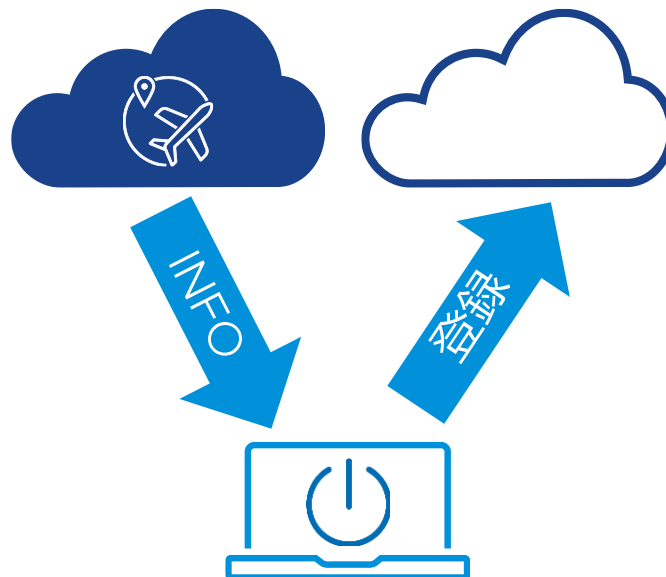


Day0 / Day1 / Day2 全ての運用を社内外にとらわれず実現

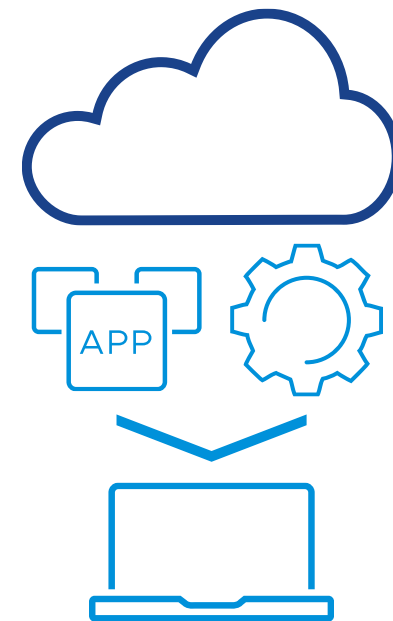
Windows Autopilot と連携した設定の自動化



工場出荷前に端末を登録



ID 入力後 MDM 自動加入

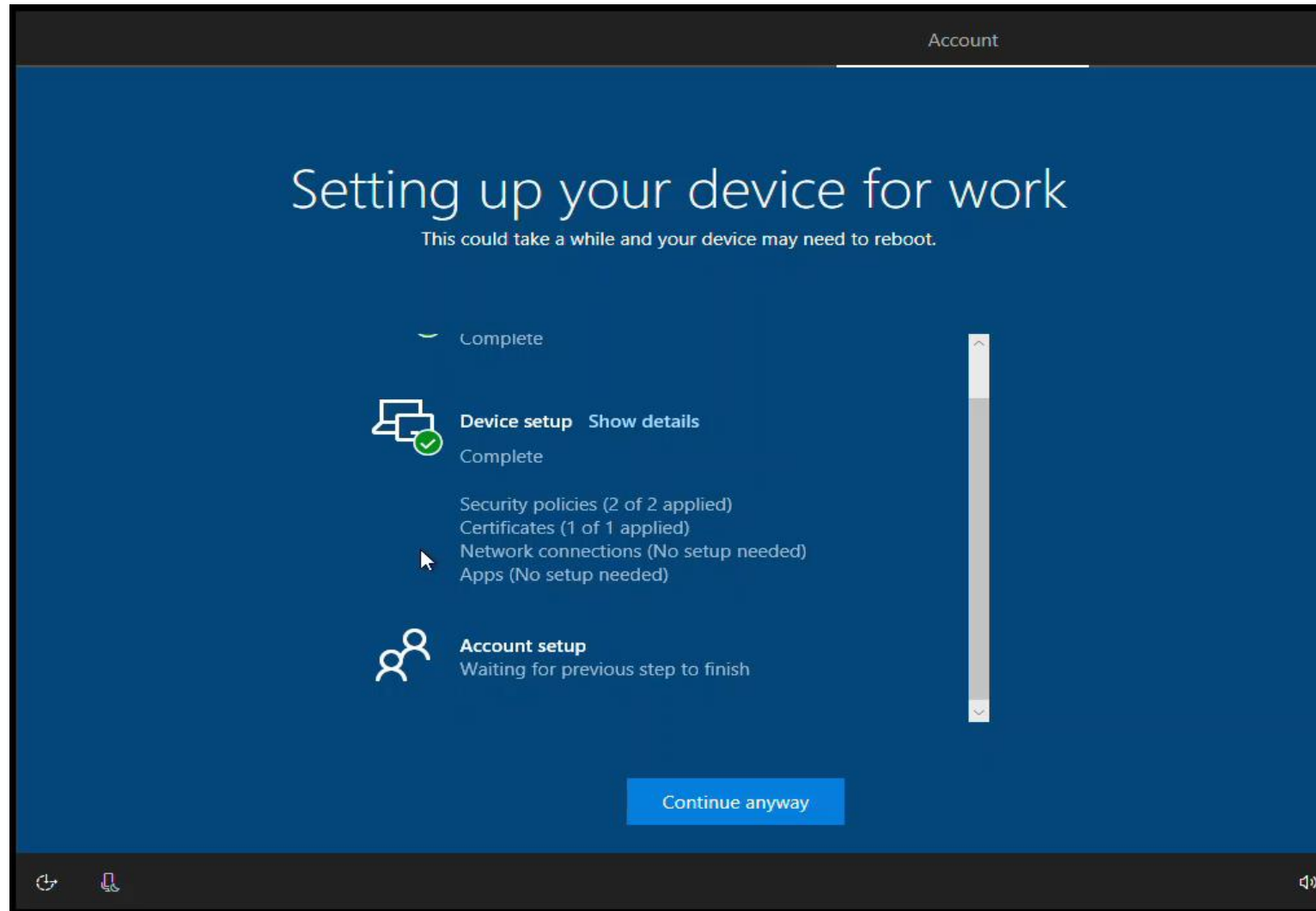


App / 設定の配信

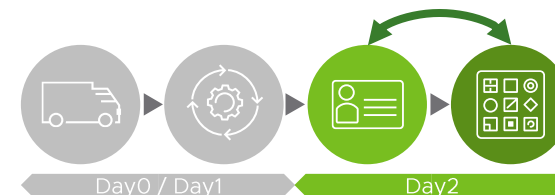


ID 入力後、自動加入まではユーザーの操作を制限

Autopilot Demo



PC 展開後の認証・セキュリティ担保



ネットワークベースの認証の強化



クラウドベースの監視・運用の自動化



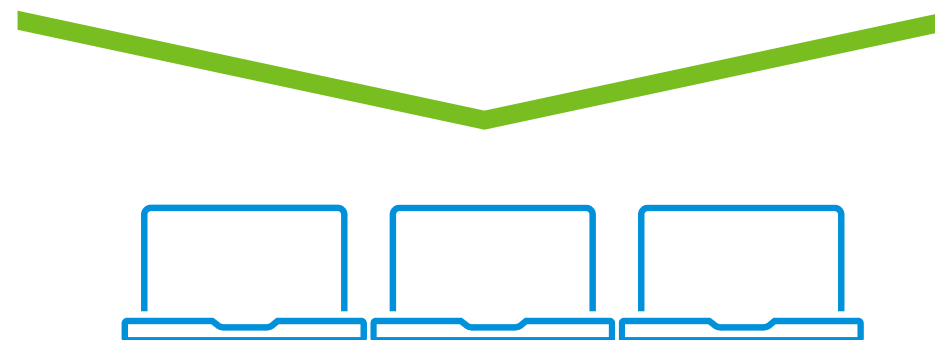
統計情報の
収集



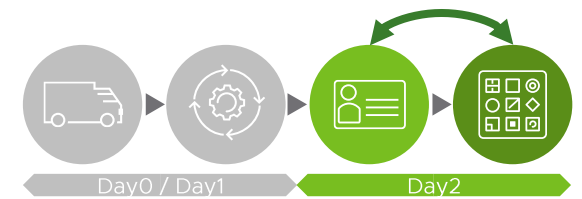
ポリシーの
適用



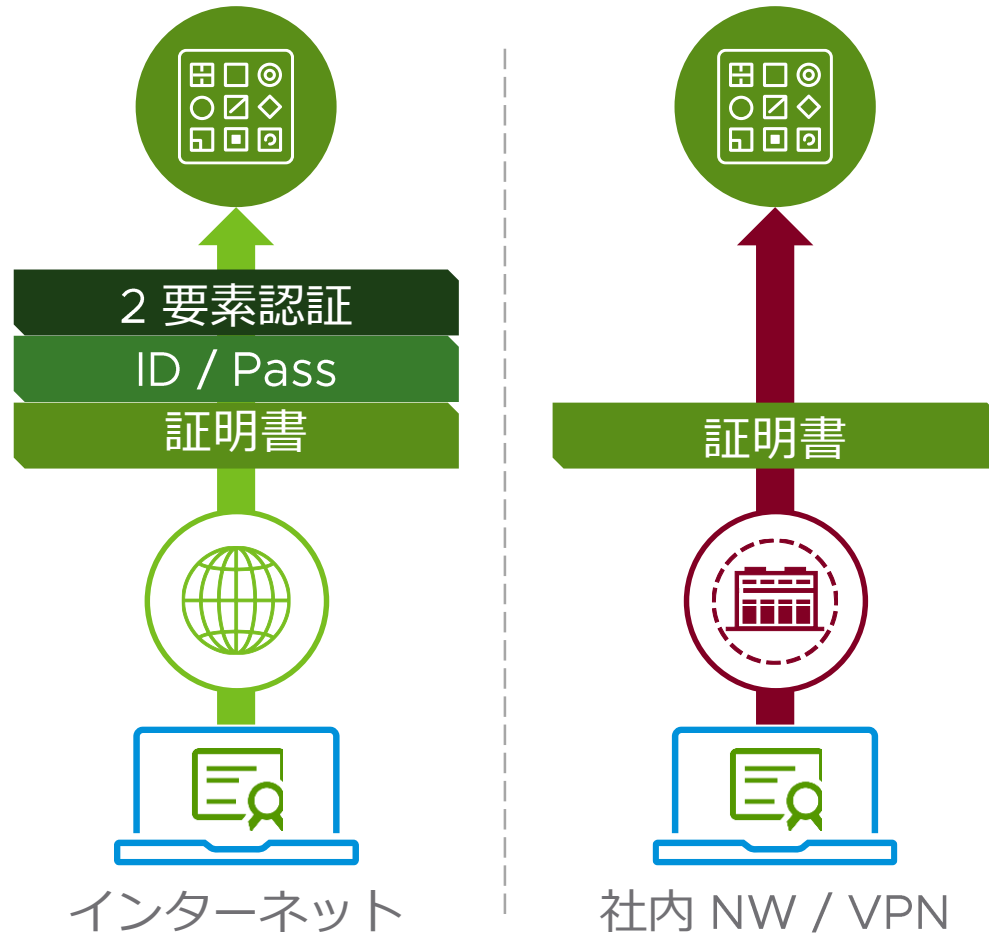
セキュリティ
ソフトとの連携



PC 展開後の認証・セキュリティ担保



ネットワークベースの認証の強化



PC Demo

Mac OS のブラウザ (Chrome) から WS1 にアクセス

モバイル端末でのアクセスとお気に入りなどに違いがないことを確認



SAML ポータルによる IP アドレスベースでの柔軟なアクセス制限

ネットワーク範囲

ユーザーがログイン可能である IP アドレスを定義するネットワーク範囲を作成します。「ALL RANGES」という名前のネットワーク範囲がデフォルトで作成されます。IP アドレス範囲を編集したり他の範囲を追加したりして、特定の IP アドレスをデフォルトのネットワーク範囲で除外したり含めたりすることができます。特定の目的のために、その他のネットワーク範囲を構成して適用します。

名前	説明
ALL RANGES	A network for all ranges

+

 ネットワーク範囲を追加

← ネットワーク範囲

 ネットワーク範囲を追加

名前

社内NW

説明

IP アドレス範囲

10.0.0.0 ~ 10.0.0.254

+

 行を追加

キャンセル

保存

新規アクセス ポリシー

- 1 定義
- 2 構成
- 3 サマリ

選択したアプリケーションへのアクセスに関するルールを作成できます。ルールごとに、IP ネットワーク範囲、アプリケーションにアクセスできるデバイスのタイプ、認証方法、再認証までにユーザーがアプリケーションを使用できる最大時間数を選択します。

ネットワーク範囲	デバイス タイプ	認証	再認証	
社内NW	いずれか	パスワード (ローカル デ...	8 時間	×
ALL RANGES	いずれか	アクセスを拒否		×

+

 ポリシー ルールを追加

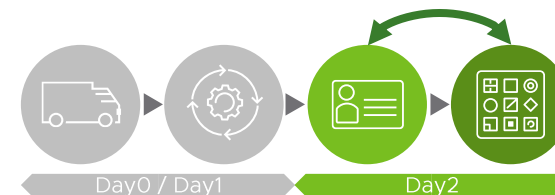
キャンセル

戻る

次へ

ネットワークレンジを指定して、必要な認証方法を選択可能

PC 展開後の認証・セキュリティ担保



ネットワークベースの認証の強化



クラウドベースの監視・運用の自動化



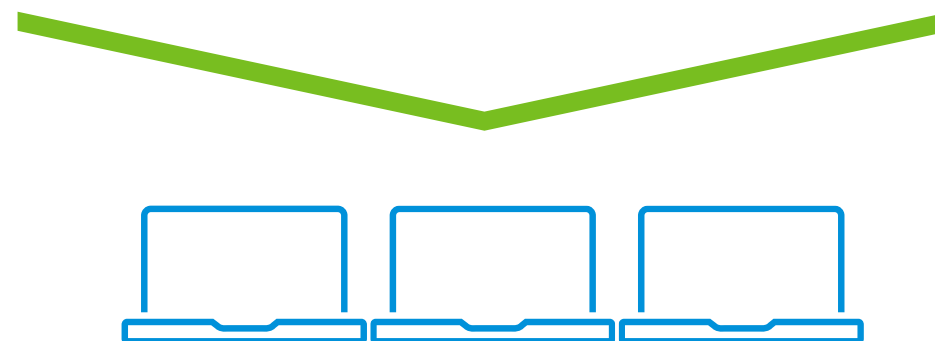
統計情報の
収集



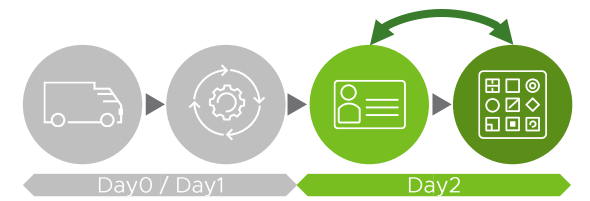
ポリシーの
適用



セキュリティ
ソフトとの連携



PC 展開後の認証・セキュリティ担保



クラウドベースの監視・運用の自動化



統計情報の
収集



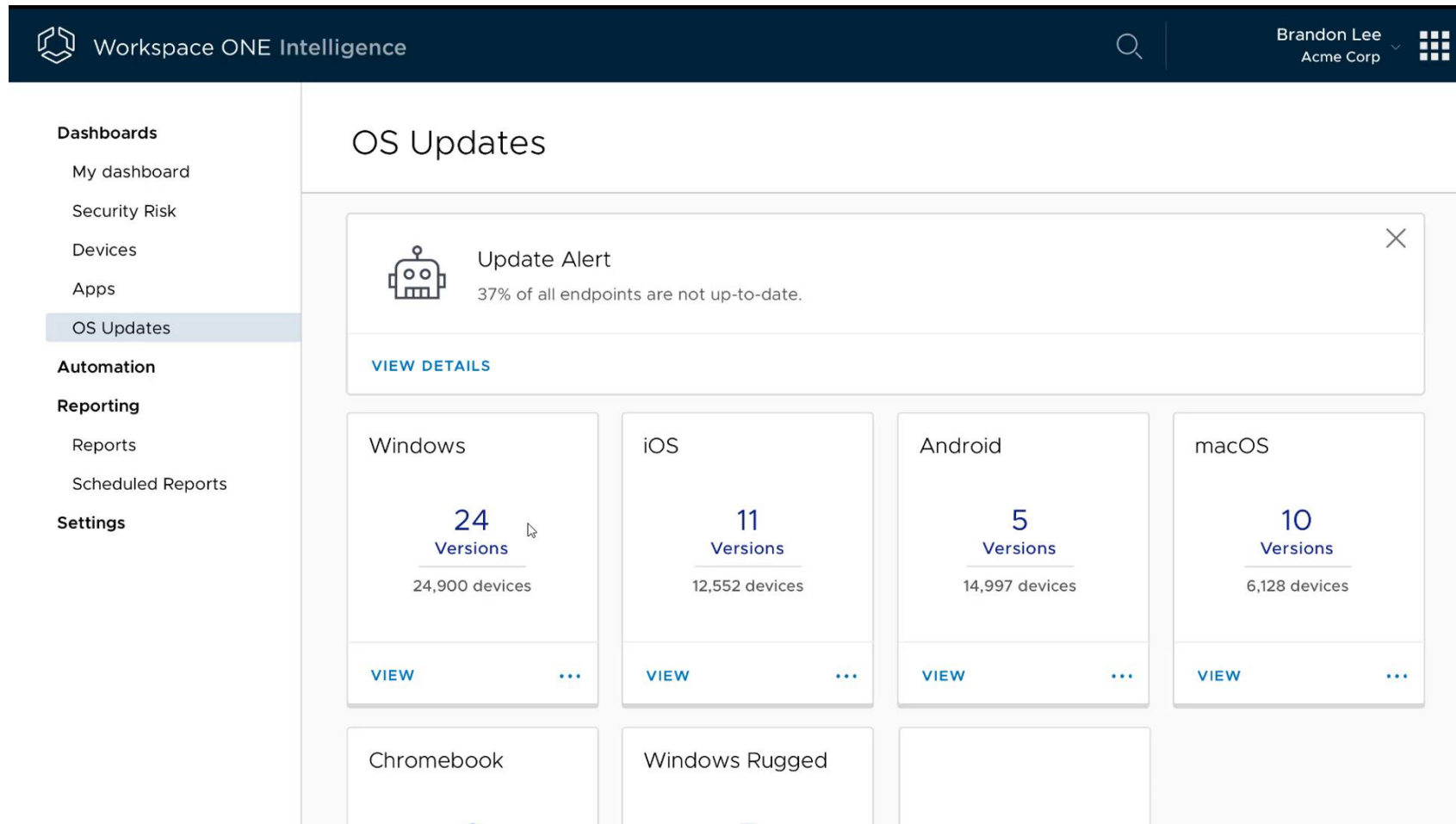
ポリシーの
適用



セキュリティ
ソフトとの連携

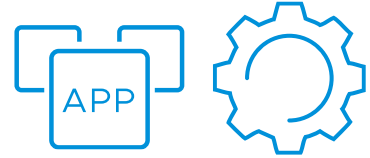


統計情報の抽出および自動化・デモ



既存のセキュリティポリシーの統制をクラウドベースで

アプリケーションや
設定の配信



Internet

VPN

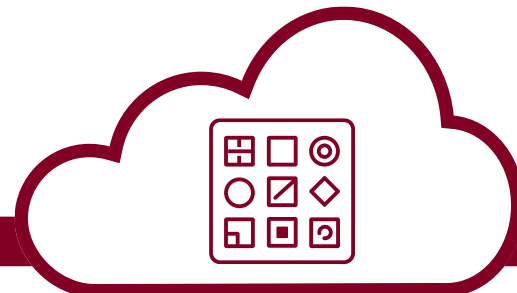
状態確認



認証

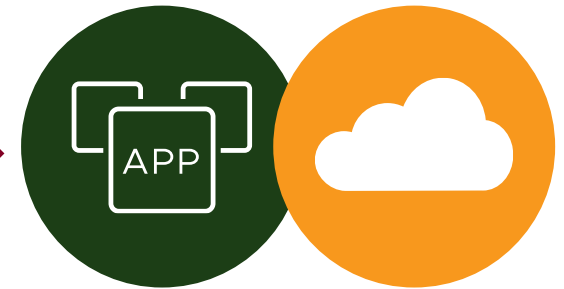


アプリカタログの提供



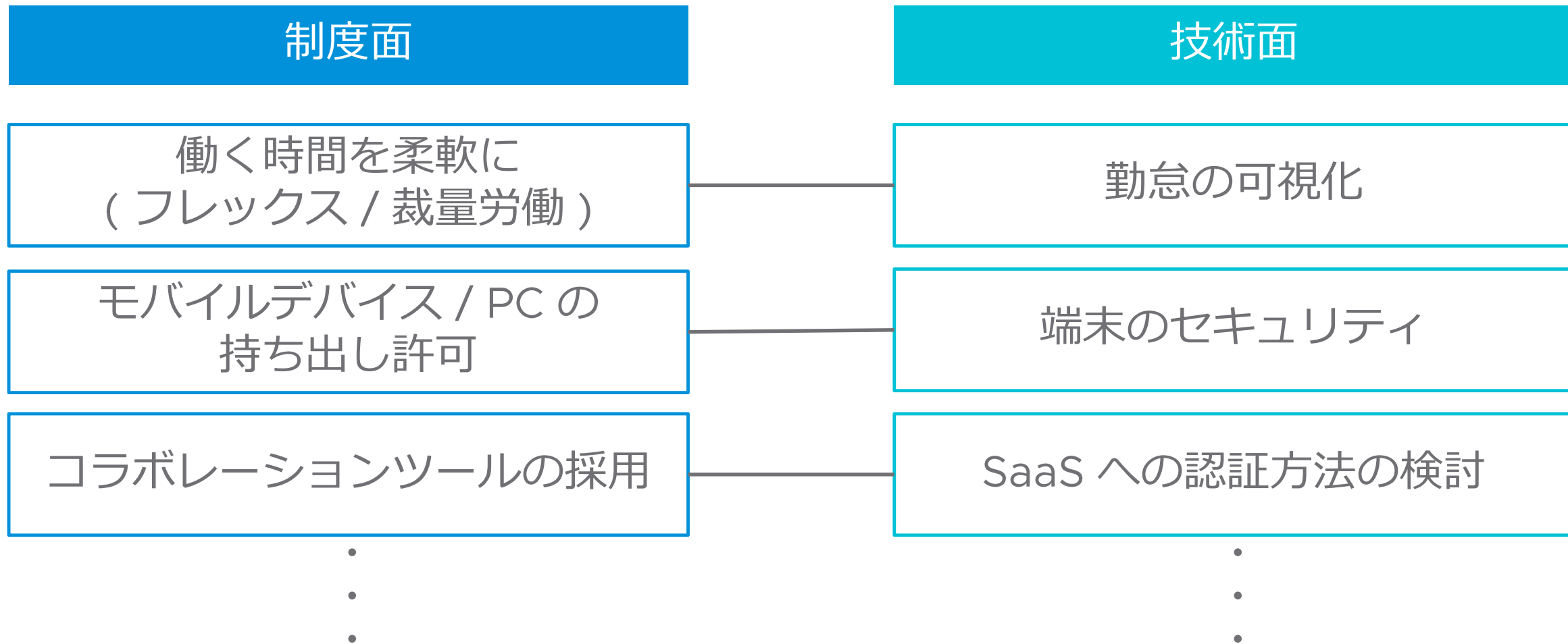
健全な状態になるよう
フィードバック

社内 App / クラウドサービス
を利用可能に



Day0 – Day2 の運用を全てクラウド上で実施可能

制度と技術のすみ分け（再掲）



働き方の多様性を認めつつ、想定外の働き方でも問題が起きない様にする
『ワークスタイル変革』の陰には『ワークスタイル管理』が必要

技術面のワークスタイル変革を VMware が支えます

ワークスタイル変革

ワークスタイル
認可



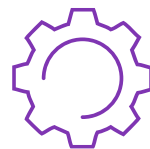
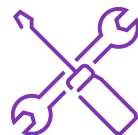
フレックス勤務 / リモートワーク
共有 ワークスペース etc.



従業員

ワークスタイル管理

どこにいても
安心なモバイル
環境の提供



ネットワークに縛られることなく
アプリやポリシー、設定の配布を実現

データが
どこにあっても
安全なアクセス



SSO ポータルで
アクセスを制御



必要に応じて
アプリベースで VPN

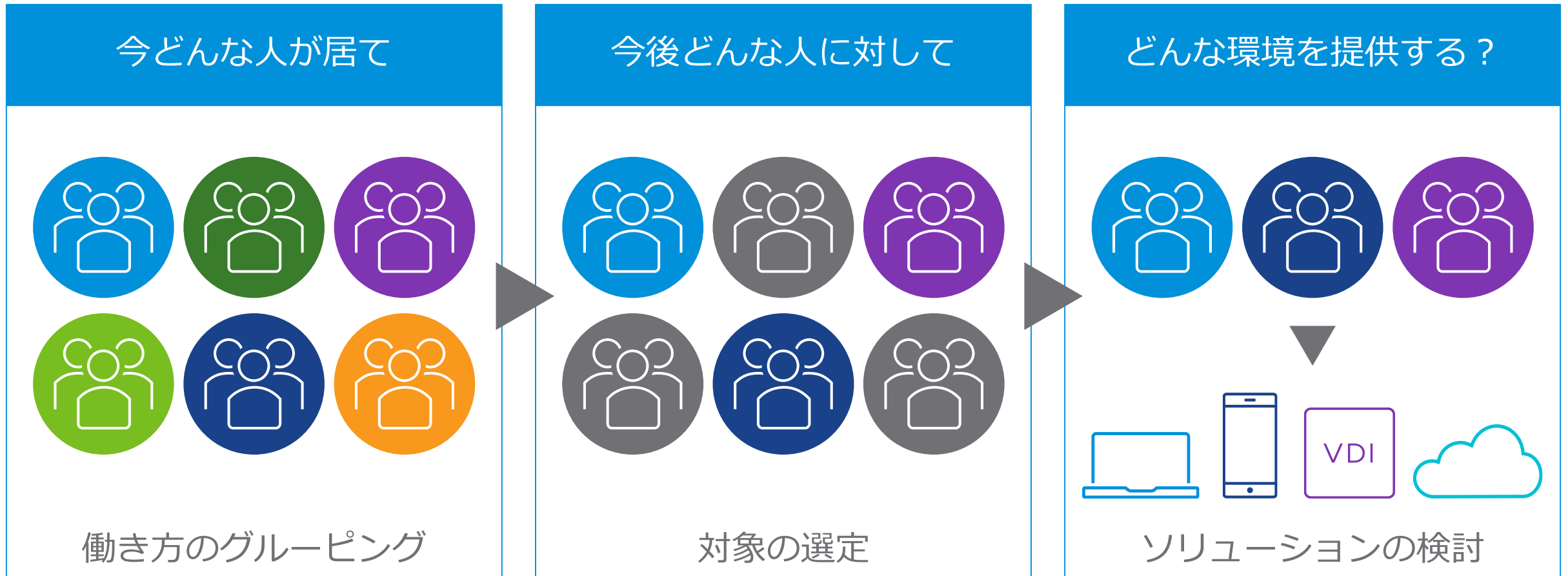


VDI / 二要素認証



モバイルデバイス

ワークスタイル変革のはじめの一步も支えます！



製品や市場に対して知識が豊富なコンサルタントが
VMware 製品によらずに検討をサポートします



Thank You